

夢のせて

2020. 11. 30
12月号

「違い」は当たり前

毎年、12月10日は「人権デー」、そして12月4日から12月10日が人権週間です。

学校では、さまざまな場面で、人権について話をしたり、考えたりする場面があります。そこで共長小学校のみなさんに、次のようなことを考えてほしいと思います。

一人一人みんな違う、全員違ってオッケーという学級・学年にしていきましょう。私たちは、自分と違うことがあると、変だとかおかしいとか思ったりすることがあります。しかし違うのはおかしいことでもないし、変なことでもないのです。違うことは当たり前ですし、いいことです。

また、意見の違いは当たり前、自分の考えと周りの考えが違うことは当たり前。（自分の考えをもっていることが大切）その違いを、お互いが認めあうようにしましょう。意見が合わないとき、相手を打ち負かそうとか、いらいらすることがあるかもしれません。そういうときこそ落ち着いて、相手の感じ方を想像しながら話ができるとよいですね。自分がどう思って話しても、受け止め方は相手次第です。言葉は伝わることで、はじめて意味をもちます。

だれでも、多くの人と関わり合いながら毎日の生活を送っています。そんなときに、一人一人みんな違う・意見が違うのは当たり前と思って生活すると、気持ちよく生活ができると思います。共長っ子が実践することを楽しみにしています。また、ご家庭でもこの人権週間の間に一度「人権」という言葉を使って親子で話をしてみてください。



校長 二村 圭史

ハサミの学校保管について

お子様がお持ちのハサミにつきまして、校内での安全を最優先と考え、担任による学校保管とさせていただきます。また、家庭科の実習で使用する裁ちバサミにつきまして家庭科室で保管し、授業の際に使用することとします。今後も児童の安全に留意してまいりますので、ご理解ご協力をお願いします。

課外活動について

令和3年度より、市内小学校陸上競技大会は廃止となります。また、それに伴いまして、本校も令和3年度より課外陸上競技クラブの部員の募集は行いません。保護者の皆様にもご了承願います。

尚、令和3年度の市内球技大会及び市小中音楽会は、引き続き開催予定ですので、課外サッカークラブ、課外バスケットボールクラブ、課外金管バンドクラブの3クラブは引き続き募集・活動を行っていきます。

共長っ子フェスティバル

秋の授業参観に引き続き、保護者の皆様に来校していただくのは難しいと考え、ミーティングアプリを利用したオンラインでの参観とさせていただきました。子どもたちはそれぞれの教室で、学習してきたことを劇で発表したり、事前に映像としてまとめたものを発表したりと工夫を凝らしていました。



1年



2年



3年



4年



5年



6年

かけ足運動始まる

今年も11/18(水)より、大放課のかけ足運動が始まりました。今年には新型コロナウイルスの感染拡大防止を考慮し、密にならないように奇数学年と偶数学年に分けて開催することにしました。

初日から春かと思わせるような暖かさの中、子どもたちは汗をかきながら一生懸命走っていました。

体調に気をつけながら目標をもって取り組み、持久走の会では存分に成果を発揮してもらいたいものです。



P T Aからのお知らせ

現在、共長小学校は15地区から地区委員(校外生活指導部員)が選出されております。しかし、近年、一屋A地区の世帯数・児童数の増加が顕著となっており、この傾向は今後も続くことが予想されております。

そこで、一屋A地区を一丁目と二丁目を境に一屋A北と一屋A南の2地区に分けることを常任委員会にて提案し、全委員会(紙面開催)に諮りましたところ、賛成多数でご承認いただきました。来年度から16地区でのスタートとなります。

また、PTAの学級委員数につきましても現行の<学級数×2名>から<学年6名>への改訂案も承認されました。詳しくはPTA総会にて報告がされますが、来年度の地区委員・学級委員の選出に関わりますので学校だよりにてお知らせしました。ご承知おきください。